

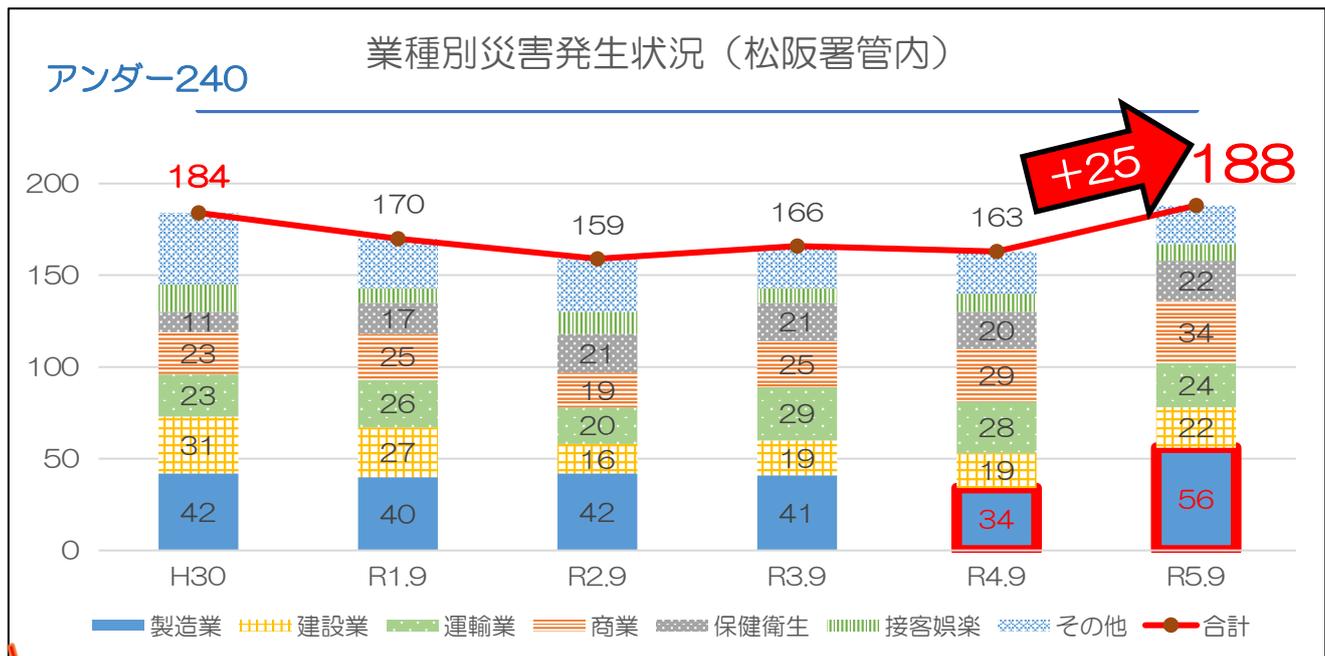
松阪・多気地域で

労働災害が増加しています！

9月末速報値 **188人**
過去10年で最多！！

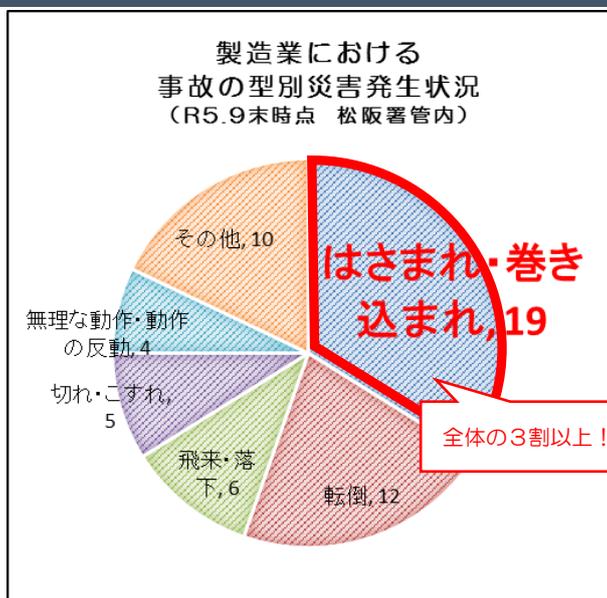
松阪署管内における令和5年9月末現在の休業4日以上[※]の死傷者数は、**188人**であり、平成30年の184人を超えて過去10年で**最多**になりました。また、[※] 昨年の同時期と比較しても25人増加（15.3%増）しています。

業種別でみると、**製造業**が昨年に比べ、死傷者数が約**1.6倍**に増加しています。今年も残り3か月です。アンダー240を達成するためにも、下記や裏面チェックリスト等を活用し、災害発生防止に取り組みましょう。



Check!

製造業では「はさまれ・巻き込まれ」災害が最も多く発生しています！



！ 機械の運転停止の徹底を！！

「はさまれ・巻き込まれ」災害の原因の多くは、**機械の運転を停止せず**に、機械の掃除・検査・修理・調整等（トラブル・不具合対応等）を行ったことが挙げられます。

これらの作業を行う際は、必ず機械の運転を停止しましょう！！

要CHECK！！

- 機械の作動は**完全に**停止したか（惰性で動いていないか）

「機械停止ヨシ！！」

- 他の労働者に分かるような措置を講じたか（他の労働者が運転しないようにしているか）



松阪・多気地区の全産業で 転倒災害が多発しています！

全体の約25%が転倒災害



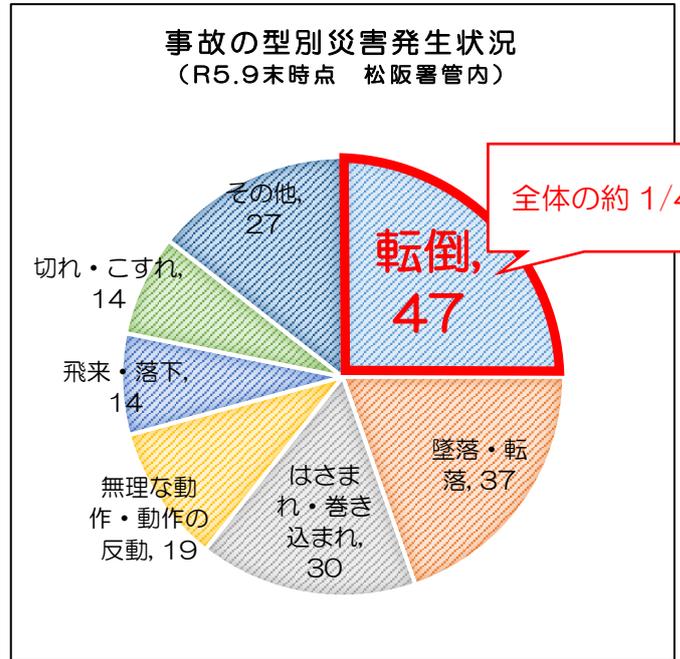
松阪署管内における令和5年9月末現在の休業4日以上死傷者数は、188人であり、そのうち、**47人（全体の約25%）**が「**転倒**」による災害となっています。

発生の要因としては、床に置かれた物につまずく、濡れた床で滑る、といったものが多くみられます。

日頃から通路や作業床の整理・整頓・清掃・清潔といった**4S活動**に取り組みましょう。また、一般に加齢とともに身体機能が低下し、低下しやすくなります。自身の体力を把握し、転倒を回避するための**体力維持**に努めましょう。

転びの予防

体力チェック



Check!

チェックリストを活用して転倒防止に取り組みましょう

☆☆ 敷地内に転倒原因がないかチェックし、対策を講じましょう！！ ☆☆

<input type="checkbox"/> (なし) 何もないところにつまずいて転倒、足がもつれて転倒 転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等の導入	<input type="checkbox"/> 作業場や通路のコードなどにつまずいて転倒 ※引き回した労働者が自らつまづくケースも多い 電気コード等の引き回しのルールを設定し、遵守を徹底
<input type="checkbox"/> 作業場・通路に放置された物につまずいて転倒 バックヤード等も含めた整理、整頓（物を置く場所の指定）の徹底	<input type="checkbox"/> 凍結した通路等で滑って転倒 従業員用通路の除雪・融雪。凍結しやすい箇所には融雪マット等を設置する
<input type="checkbox"/> 通路等の凹凸につまずいて転倒 敷地内（特に従業員用通路）の凹凸、陥没穴等（ごくわずかなものでも危険）を確認し、解消	<input type="checkbox"/> 作業場や通路にこぼれていた水、洗剤、油等で滑って転倒 水等がこぼれていることのない状態を維持する。
<input type="checkbox"/> 作業場や通路以外の障害物（車止め等）につまずいて転倒 適切な通路の設定 駐車場の車止めの「見える化」	<input type="checkbox"/> 水場（食品加工場等）で滑って転倒 滑りにくい履き物の使用 隣接エリアまで濡れない処置 防滑床材・防滑グレーチング等の導入、再施工
<input type="checkbox"/> 作業場や通路の設備、什器、家具に足を引っかけて転倒 設備、什器等の角の「見える化」	<input type="checkbox"/> 雨で濡れた通路等で滑って転倒 雨天時に滑りやすい敷地内の場所を確認し、防滑処置等の対策を行う

～関連サイト等～

職場3分
エクササイズ



中央労働災害防止協会
転倒予防セミナー



エイジフレンドリー
補助金



中小規模事業場
安全衛生サポート事業



(R5.10)